

『見知らぬ土地での初めての子育てを救ったのは・・・』

「ギャー！」

ワンワン泣く、聞き覚えのある声に、私はいてもたっても
いられませんでした。

児童館の別室で息子のエイジが泣き叫んでいる様子に、
私は話しの途中で席を立ち、エイジの元に駆けつけました。

当時、エイジは10ヶ月。

エイジと私は、月に数回通い、児童館のスタッフさんたちとは
顔見知りで、エイジも仲良くしてもらっていました。

その児童館で、子育てについてお話を聞く機会があり、
同世代の子どもたちのママたちが、子どもを別室にいる
ベテランのシッターさん預けて、お話を聞いていたのでした。

エイジと同じくらいの10ヶ月の子どもたちは、
30人くらいいましたが、エイジだけギャンギャン泣いて、
途中から私のところに戻ってきてしまいました。

私は、結婚と同時に主人の転勤で東京に引っ越し、
知り合いのほとんどいない中で子育てをしていました。
ほとんどの時間を私と二人だけで過ごすうちに、エイジは
人見知りになってしまっていました。

この出来事があってから、私は息子をたくさんの人と
ふれあえる環境で育てたいと思うようになりました。

そんなときにセルラスと出会い入会。

入会して数ヶ月は、ピアザに行っても、抱っこしていないと
泣き出してしまっていました、
少しずつ私と離れることができるようになりました。

3年間の東京生活の後、地元の関西に戻り息子は
幼稚園に通い始めました。

幼稚園では毎年、発表会があります。
その場で息子は、たくさんの人の前で誰よりも
大きな声で堂々と劇をしていました。
人見知りだった息子が、ピアザでたくさんの人に触れ合い、
人前で話すことに少しずつ慣れ、その事が幼稚園の
発表会に繋がったのだと思います。
成長した息子の姿が見れてとても嬉しかったです。

現在、6歳になった息子が、先日のピアザでは
ペルーの留学生と楽しそうに話している姿を見て驚きました。
3歳になる弟も自然にその輪に入っている様子を見て感心しました。
息子達のこれからの成長が楽しみです。